

行政分野別検討シート	各行政分野の主な施策	政策分野レベルのまとめ	各行政分野における審議会意見の概要	将来像へのキーワード
1 行財政運営	行政内部の事務のICT活用	(1)効果的・効率的な行財政運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後生産年齢人口の減少による税収減を考えると「強固な財政基盤」という表現より、いかなる時代であれ安定的に運営できるような財政基盤を築いていくといった表現の方が適切ではないか。</li> <li>○ 「経営感覚に優れた」職員の育成は必要な視点だが、時々の社会経済状況における行政ニーズに的確に対応できること、「公」としての経営感覚がより重要と考える。</li> <li>○ ベテラン職員の大量退職による組織力の低下を招かないよう、高齢者の再任用などにより組織力を維持するという点も考えるべきである。</li> <li>○ 人口動態は、自然増減だけではなく社会変動や開発の影響、外国人の流入などの影響も考えられる。ダイバーシティ(多様性)の問題等も考慮すべきである。</li> <li>○ SDGs(持続可能な開発目標)の要素を盛り込んだ方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時々の社会経済状況における行政ニーズに的確に対応できる職員・組織</li> <li>○ 先端技術の活用などによる職員個々の生産性の向上</li> <li>○ 職場で蓄積してきた経験も活用した組織力の強化</li> <li>○ 時代変化に応じて、安定的に運営できる財政基盤の確立</li> </ul>
	民間活力の活用			
官民連携の推進				
職員の人材育成				
	区有施設の見直しの推進	(2)適切な公共施設サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 区民からの要望が高い、「防災対策の強化、高齢者・障害者にやさしいまち、子育て支援」の視点を区有施設の見直し等にも活かした方がよい。</li> <li>○ ハード面の整備に終始するのではなく、社会的ニーズやこれからの地域コミュニティ像などを検討しながら、ソフト面も含めた施設再編を行うことが必要である。</li> <li>○ 「他区との連携」「財政難」の観点から、近隣区を含めた施設の集約化を検討してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 区民ニーズをとらえた区有施設見直しの推進</li> <li>○ 社会的ニーズやこれからの地域コミュニティ像などを踏まえた施設再編</li> </ul>
2 情報政策	各種手続のデジタル化の推進	(3)デジタルガバメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 先端技術の活用は、長期計画においては理念的な記載にしないと陳腐化する。</li> <li>○ 情報分野においては、民間活用の視点も盛り込んだ方がよい。</li> <li>○ ICTの活用により定型業務の自動化を推進する視点を盛り込んでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICTの活用による区民の利便性の向上と業務の効率化</li> <li>○ 高度に専門的な知見や、多様な民間の力の活用による情報化の推進</li> </ul>
	データ利活用の推進			
	情報セキュリティ対策の強化			
	情報発信力の強化	(4)広報・広聴の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 若者への情報発信ツールとしてSNSなどを有効活用した方がよい。</li> <li>○ ICT活用だけではなく、情報弱者、高齢者等への情報発信は紙媒体にするなど様々な手法を検討していくべきである。</li> <li>○ 「戦略的な情報発信のための指針」の目標である『「伝える」手法で情報発信し、区民と『つながる』環境をつくる』という視点は、新しい計画にも残した方がよい。</li> <li>○ 区民同士のつながりや、プラットフォームの構築等の視点も盛り込むべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「伝える」手法で情報発信し、区民と「つながる」環境をつくる</li> <li>○ 時代に即した情報発信媒体の活用と多様な提供方法の確保</li> <li>○ 区と区民がつながる双方向コミュニケーションの充実</li> </ul>
区民の区政参画・情報共有の推進				
3 平和・人権	平和の尊さの啓発	(5)平和の希求	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平和は最も重要なテーマであり、ますます充実させようという行政の考えに賛同するとともに、今後もぜひそうあってほしいと願う。</li> <li>○ 平和に関する取組をもっと身近にできるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平和意識の醸成</li> <li>○ 戦争の悲惨さや平和の尊さの後世への伝承</li> </ul>
	人権尊重の施策の推進	(6)人権を尊重し多様性を認め合う地域社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 虐待やDVなどの暴力、様々なハラスメント等、また、社会的孤立や引きこもりなどの課題、その原因として考えられるいじめ等も人権侵害の一つであるため、人権の問題として取り上げた方がよいのではないかと考える。</li> <li>○ 子どもの人権や、子どもの人権に対する相談体制の強化等についても、明示していただきたい。</li> <li>○ 相談を受ける側が十分な知識や対応方法を有し、相談に対して状況を適切に判断できるよう、相談体制の充実も必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年齢、性別、国籍、障害の有無等に関わらない、全ての人々の人権の尊重</li> <li>○ 誰もが等しく能力を発揮し、活躍できる活力ある地域社会の構築</li> <li>○ 多様化・複雑化する人権問題に対する相談支援体制の充実</li> </ul>
	男女平等・共同参画の推進			
性の多様性の理解促進				
4 防災・防犯	避難所等の機能強化	(7)震災、風水害などへの備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般の避難所整備だけでなく、災害弱者が利用する福祉避難所をどう充実させていくかという視点も重要ではないか。</li> <li>○ 公助から共助へというのは理解できるが、共助を推進するのは公助の後退を意味するわけではないので、公助が環境を整えた上で共助を推進するといった公助の土台があることを明確にするべきである。</li> <li>○ 地域防災リーダーの育成も大事だが、実際の活動でも、個人より避難所運営協議会の充実が大事だと感じるのでそこに力を入れてほしい。</li> <li>○ 災害時には状況をいち早く知ることが重要である。情報ネットワークや情報を共有できる環境を整備してほしい。</li> <li>○ 防災分野にジェンダーや人権の視点を入れるべきではないか。避難所運営協議会などにおいても、トイレなど様々な問題があるが、日常からの啓発をしていく必要がある。今後は、多様性がますます重要になってくると考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害時における避難所等の機能強化</li> <li>○ 地域防災リーダー、避難所運営協議会等の充実による地域防災力の向上</li> <li>○ 帰宅困難者対策の充実</li> <li>○ 災害時における情報収集・発信力の強化、情報ネットワークの整備</li> </ul>
	地域防災力の向上			
	帰宅困難者対策の充実			
	災害時における情報収集・発信力の強化			
	日常生活における犯罪被害の防止	(8)日常生活の安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題解決の方向性の5年後に「特殊詐欺対策」が記載されているが、それは正に今取り組んでいることであって、将来の姿としてふさわしいのか。</li> <li>○ 防犯カメラの積極的な活用を含めてICTを活用した防犯体制の充実を図るべきではないか。防犯カメラは監視用ではないこと、有事の使用もプライバシーを侵害せず有効活用ができることなど、区民への啓発・PRが必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係機関と連携した特殊詐欺被害の防止</li> <li>○ 地域防犯ボランティアの活動の推進</li> <li>○ 防犯設備の啓発による整備の促進</li> <li>○ 安全で安心な消費生活環境の推進</li> </ul>
地域防犯ボランティアの活動促進				
防犯設備の整備促進				
消費者被害の防止				

行政分野別検討シート	各行政分野の主な施策	政策分野レベルのまとめ	各行政分野における審議会意見の概要	将来像へのキーワード
5 地域コミュニティ	多様なコミュニティ活動への支援	(9)コミュニティ活動の活性化促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町会・自治会と住区住民会議という二つのコミュニティが地域コミュニティの中心的存在であるという認識を再確認した方がよい。</li> <li>○ 地域コミュニティの中心的役割を果たす団体として商店街にも目を向けるべきである。</li> <li>○ 町会・自治会などの地域団体の柱とともに、地域に縛られない「趣味のつながり」によるコミュニティも柱として捉えるべきではないか。</li> <li>○ 地域活動の担い手不足が深刻であるが、トップダウンではなく、草の根的に広がる活動を支援する形で進めるべきである。</li> <li>○ 外国人住民の方も区や地域の活動に参加しやすいような仕組みが必要ではないか。</li> <li>○ 現行基本構想に掲げる「住民自治の確立」の理念は存続するべきである。</li> <li>○ コミュニティ施策と様々なまちづくりに関する取組は、連携して取り組んだ方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町会・自治会と住区住民会議を中心として、商店街やPTAなど地域の様々な活動団体同士の連携・協力</li> <li>○ NPOなどの目的別コミュニティの活動も活かす連携・協力体制</li> <li>○ コミュニティ施策の横断的な展開</li> <li>○ 地域活動の担い手や参加者を広げる活動への支援</li> <li>○ 外国人住民も参加しやすい仕組みづくり</li> </ul>
	地域主体同士の連携・協力の推進			
6 産業振興	地域産業の維持・発展への支援	(10)地域の産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人口減少・労働人口減少社会とともに、人生100年時代を見据え、国や都の動きと同様に、高齢者の就労支援・創業支援体制の整備・充実が必要ではないか。</li> <li>○ 区内から工場がなくなっているという状況を見ると、区に新たに中小企業を呼び込める仕組みづくりが必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業者の経営基盤の強化による地域産業の安定的で継続的な発展</li> <li>○ 事業者の成長促進に向けた積極的な支援と意欲ある多様な人材の創業支援</li> </ul>
	創業・起業への支援			
	魅力ある商店街づくりの推進	(11)商店街の活性化支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 商店は商品やサービスの提供のみならず、見守りや地域のコミュニティ形成の重要な役割を担うことから、商店街が生き残る必要がある。</li> <li>○ 安全・安心な商店街であることがよいところでもあるため、まちづくりと一体化させた総合的な取組が必要である。</li> <li>○ 食料品等を扱う生活密着型店舗の減少は商店街の未来にも直結するため、買い物客を喜ばせる魅力や個性をアピールする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 商店街振興と連携した魅力的で活力あるまちづくりの推進</li> <li>○ 多様な手法による商店街の魅力の発信</li> <li>○ 地域の核となる商店街の推進</li> </ul>
	地域資源を活かしたまちの魅力の向上			
7 芸術・観光・自治体交流	芸術文化に親しむ機会・場の提供	(12)芸術文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史的にゆかりのある文化人や民間の美術館等との連携・協力により、区民の芸術文化活動を広げていくことができないか。</li> <li>○ 「あらゆる区民の芸術文化活動を支援する」とあるが、芸術文化活動は幅が広く、実現性に疑問が残るため、より適切な言葉を選択する必要がある。</li> <li>○ 「スポーツ分野」と比較して、芸術文化に親しむという表現が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 芸術文化を契機とした人と人とのつながりの創出</li> <li>○ 区民の誰もが芸術文化に親しめる環境の整備</li> </ul>
	芸術文化活動への支援			
	芸術文化を通じたつながりの創出			
	観光資源の活用	(13)観光まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 区内観光客の増加に伴う周辺住民の住環境への影響があり、居住者との共生も踏まえて観光ビジョンを進める必要がある。</li> <li>○ 魅力ある商店街づくりが都市型の観光につながると思うので、そのような魅力ある環境を創出することができればよいと思う。</li> <li>○ 区の魅力や資源を外国人に伝えられるよう、区の情報発信力を強化してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住環境に配慮した目黒区ならではの観光まちづくり</li> <li>○ 目黒区の地域特性を生かした戦略的な情報発信</li> </ul>
	来訪者への情報提供の充実			
	多言語対応の推進			
	他の自治体との交流促進	(14)自治体交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 区と関係機関等が連携し、外国人に区の有する資源や考えを伝えることが重要ではないか。</li> <li>○ 外国籍の人が増加傾向にある中、長期的な視点で魅力的な取組を推進する必要がある。</li> <li>○ 外国人住民が区の様々な活動に参画できる仕組みを構築する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国人住民を含めた多様な人々が交流・活躍できる多文化共生社会の推進</li> </ul>
	外国都市との交流推進			
外国人住民への生活支援	(15)多文化共生の推進			
外国人住民の地域参加の促進				
8 スポーツ振興	スポーツに親しむ機会・場の提供	(16)スポーツを楽しむ環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競技者の増加や競技スキルの向上とともに、指導者を育成することも重要である。</li> <li>○ 世界中にある多種多様なゲームを誰もが楽しめる環境を、区として整えるのかどうか方針の検討も必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ライフステージに応じたスポーツに親しむ機会の充実</li> <li>○ 子どもがスポーツに親しむ機会の充実</li> <li>○ スポーツを支える人材や指導者の育成</li> </ul>
	スポーツを通じた健康づくりの推進			
	スポーツを通じたつながりの創出			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害者や子どもも含め、誰もが同じ競技に参加し、一緒に取り組めるような仕組みをつくることも重要である。</li> <li>○ 外国人との共生という視点も含め、コミュニティの中でどのようにスポーツを組み込んでいくかが求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害者スポーツの推進</li> <li>○ 年齢や障害の有無に関わらず、誰もがともにスポーツに親しむ機会の創出</li> <li>○ スポーツを通じたコミュニティ形成</li> </ul>

行政分野別検討シート	各行政分野の主な施策	政策分野レベルのまとめ	各行政分野における審議会意見の概要	将来像へのキーワード	
9 地域福祉・地域包括ケア	包括的な相談支援体制の充実	(17)「地域共生社会」の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仕事と介護の両立をしている人にとって地域包括支援センターはまだ身近になっていない。より身近な窓口等で地域包括支援センターの情報を分かりやすく発信してほしい。</li> <li>○ 5地区に設置した生活支援の「協議体」について、協議体の「質」に地域格差がなく、その地域に合った協議体となるような取組にすべきである。</li> <li>○ 見守りめぐねつとを組織的に充実させることが重要である。</li> <li>○ 地域共生社会について、共助ばかりを強調せず、行政の支援も位置づけていくべきである。</li> <li>○ 地域福祉に関して子どもへの福祉と障害に関する教育や子育て分野との連携が課題である。</li> <li>○ 地域包括ケアについて、介護される側だけでなく、介護をする側への支援の視点も十分に踏まえてほしい。点ではなく、重層的に支えるというように表現を工夫してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるための「地域共生社会」の実現</li> <li>○ 社会情勢の変化や区民ニーズの動向を見据えた「地域包括ケアシステム」の更なる強化</li> <li>○ 複合的な課題に対応するための地域における包括的な相談支援体制の構築</li> <li>○ 地域における支え合いを推進していくための、高齢者や若年層等の「新たな担い手」の確保</li> <li>○ 介護・福祉サービスの需要の増大に対応できる介護・福祉人材の確保</li> </ul>	
	地域における支え合いの推進				
	地域福祉活動への支援				
	認知症対策の推進				
10 高齢福祉・障害福祉・生活困窮	高齢者福祉施設の整備	(18)高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後認知症患者が激増する時代を迎えることが見込まれる中、認知症になった方の支援策だけではなく、少しでも認知症の進行を抑制する、認知症予防の施策にも注力してほしい。</li> <li>○ ハード面のバリアフリーは進んでいるが、心のバリアフリーは進んでいないようなので、関係団体と行政と一体となって進めてほしい。</li> <li>○ 障害者差別解消について、障害や介護についての知識不足が相互の不理解を招いていると思うので、これらに対する知識をつけていくための啓発にもっと力を入れていく必要がある。</li> <li>○ 障害福祉について、障害者本人の視点を取り入れたサービスの提供のあり方が重要ではないか。</li> <li>○ 「生活困窮者世帯の学習支援事業」を社会教育館、住区センター、学校などの他の区の施設にも学習の場として拡大してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者の多様な生き方を支援する地域包括ケアシステムの構築</li> <li>○ 高齢者の社会参加による生きがいつくりの促進</li> <li>○ 障害者やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できる支援体制の構築</li> <li>○ 子どもを含む全ての生活困窮者への総合的な支援体制の整備</li> </ul>	
	生活支援サービスの充実				
	介護給付・予防の充実				
	多様な地域・社会参加の場の充実				
	障害の理解促進・障害者差別解消の推進	(19)障害者福祉の充実			
	障害者福祉施設の整備				
	自立・社会参加の支援				
	健康で自立した生活への支援	(20)生活の安定と自立支援			
包括的な相談支援					
11 保健医療	生涯を通じた健康づくりの推進	(21)健康寿命の延伸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育て世代包括支援センター事業により、母子保健と子育て支援の「縦割り」の壁の解消が図られることを期待する。</li> <li>○ 海外から様々な感染症が持ち込まれることが危惧されるため、地域においても感染症対策は重要である。</li> <li>○ 区内の医療連携体制(病院、クリニック、医師会等)について、長期計画に盛り込んでほしい。</li> <li>○ 自殺対策を考えたときに、メンタルヘルスの取組、精神疾患のある方への支援が重要になると思う。</li> <li>○ HACCPは食品事業者の問題ではあるが、まず区が先駆けて先進的な衛生管理や事業者への周知、浸透、取組の定着、持続性を確保し、行政による的確な外部検証体制の構築をしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての区民が主体的に取り組める健康づくりの推進</li> <li>○ 妊娠期から子育て期まで誰もが安心して妊娠、出産、子育てができる環境の整備</li> <li>○ 地域における感染症対策の推進</li> <li>○ 安心して適時適切な医療が受けられる地域医療体制の充実</li> <li>○ 関係機関と連携協力した総合的な自殺対策の推進</li> <li>○ 食生活の多様化に対応できる食の安全安心の確保</li> </ul>	
	受動喫煙防止の推進				
	各種健診・保健指導の充実				
	妊娠期からの相談体制の充実	(22)保健・医療体制の充実			
	感染症対策の強化				
	地域医療体制の整備				
	在宅療養等の支援				
	自殺対策の推進	(23)生活環境の向上			
	食品衛生の推進				
	生活衛生の推進				
12 子育て	子どもの権利が尊重される環境の整備	(24)子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育て分野か教育分野のどちらかに「暴力がない」「いじめがない」といった内容を入れてほしい。</li> <li>○ 「地域や社会で子どもを育てる」という視点も重要であるが、「保護者が子どもを育てる」という基本的な部分を支えていく必要がある。</li> <li>○ 区が主体となってネットワークを構築するなど、地域団体がいない場合には、区が環境をつくっていくという姿勢も必要ではないか。</li> <li>○ 児童虐待防止の体制整備は、一刻も早く取り組むべき課題であり、区としてスピード感を持って進めてほしい。</li> <li>○ 虐待対応の組織が一元化しても、行政の縦割りの壁に阻まれることがあるので、「一元的に運用する」ことから、更に一歩進んだ表現を検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 妊娠期から青年期までの包括的で切れ目のない支援体制の構築</li> <li>○ 子育て支援活動を行う地域団体への支援</li> <li>○ 児童虐待防止の一元的な体制整備の推進</li> <li>○ 様々な関係機関と連携した虐待の未然防止に向けたネットワーク体制の充実</li> </ul>	
	妊娠期から青年期までの包括的な子育て家庭への支援				
	子どもの虐待を防止するための体制整備				
	多様な保育・教育の充実				<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な保育サービスは、数や量を増やすだけではなく、質の確保・向上もしっかり位置付けていくべきである。</li> <li>○ 民間との協働による「子どもの居場所づくり」という視点も加えるべきではないか。</li> <li>○ 児童館の充実と住区住民会議の連携について、児童館が主催する地域との連絡会が有効な働きをしており、一層の充実を図るべきである。</li> <li>○ 隠れ待機児童問題について、一時的に主婦になった人が働きやすい環境を整えるには、保育施策とともに働き方支援を進めていく必要がある。</li> </ul>
	放課後の居場所づくりの推進				
青少年の健全育成					

行政分野別検討シート	各行政分野の主な施策	政策分野レベルのまとめ	各行政分野における審議会意見の概要	将来像へのキーワード		
13 安全・安心の街づくり	都市の防災機能の向上	(25)災害に強い街づくり	<p>○ 都市づくりでは、都市構造や土地利用、次に交通環境、安全安心という形でまとめる方が良く、内容が重複している部分もあるので、政策分野のタイトルも含めて整理する必要がある。長期計画は理念をうたうものなので、その点を考慮して表現を工夫すべきである。</p> <p>○ 地球温暖化による風水害を懸念しており、樹木が多いのは良いが倒木が心配である。水害だけでなく風害に対する対策も必要ではないか。</p> <p>○ 防災まちづくりについて、5年後に区内の耐震化率が95%以上としているが、可能な限り早める必要があるのではないか。</p> <p>○ 公園整備について、今後の区有施設の統廃合や道路整備の機会などに小規模でも整備してことや、将来的に周辺区との共同設置など様々な手法による整備を検討してはどうか。</p> <p>○ 既存の住宅ストックを資産として活用することについて、現状でも高齢者の住宅確保が困難なため、課題解決を早めるべきではないか。</p> <p>○ 区営住宅等ハード面の拡充について、公営住宅など公的な住宅をハード面から保証していくのは今後も大きな課題である。</p> <p>○ 新たな政策課題に「住宅確保要支援者に対するソフト面での対策」や「民間共同住宅が管理不全に陥らないための支援」が挙げられているのに、課題解決の方向性にはその点での記載がないが、どう考えているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 建築物の不燃化・耐震化の促進による防災まちづくりの推進</li> <li>○ 狭あい道路の拡幅整備</li> <li>○ 無電柱化の推進</li> <li>○ 都市型水害に対応できる総合治水対策の推進</li> <li>○ 地域特性に応じた生活拠点の整備</li> <li>○ 快適な居住環境の整備</li> <li>○ 住宅確保要支援者の住まいの確保</li> <li>○ ニーズに合った公園等の整備と長寿命化の推進</li> </ul>		
	建築物の不燃化・耐震化の促進					
	狭あいな道路の拡幅整備					
	無電柱化の推進					
	激甚化する災害への対応					
	雨水流出抑制の推進	(26)魅力ある街並みの整備			<p>○ 課題解決の方向性の10年後の中で自転車の利用促進とともに自転車のルール・マナーの浸透を挙げているが、自転車安全条例の制定の方向性を踏まえれば、5年後の目標とすべきである。</p> <p>○ 都心部からの主要な道路の整備に伴い交通量も増加し、渋滞が発生するとう回路を利用されるため、う回路の安全性の整備も必要ではないか。</p> <p>○ 目黒区は坂道が多くそれに伴う事故も多発するため、明らかに事故が多い箇所の改善や対策を進めていくべきだ。降雪時の危機管理や対策も必要だろう。</p> <p>○ 10年後ぐらいには人口減少や高齢化が進む中で、坂道の多い目黒区の地域の特性に合った課題を検討していくべきではないか。</p> <p>○ 政策課題や解決の方向性の中で「交通バリアフリー」は掲げられているが、高齢者や障害者などの交通弱者に対する施策を記載すべきである。</p> <p>○ コミュニティバスなどの地域交通に関する記載がないので、加えるべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道路、橋りょう等の整備・長寿命化の推進</li> <li>○ 歩行者に配慮した交通バリアフリーの推進</li> <li>○ 交通安全対策の推進</li> <li>○ 放置自転車対策の更なる推進</li> <li>○ 安全な自転車走行環境の整備と自転車の安全利用の推進</li> </ul>
	地域特性に応じた生活拠点の整備					
	計画的な土地利用の促進					
	地域街づくりの推進					
	良好な景観形成の推進					
14 道路・交通	景観資源の保全・活用	(27)誰もが住みやすい環境の確保	<p>○ 目黒川の合流式下水道の早期改善の都への要望について、5年後には早期改善が図られるようにしていただきたい。10年後には水質改善が果たされていることを方向性に掲げていくべきではないか。</p> <p>○ 区の目玉は目黒川の桜である。ただし、下水は隣接区、区横断的な施策が必要だが、この点、都との連携と区、区民の熱い思いを反映させることが必要ではないか。沿岸住民が納得できる施策を皆で考えていくべきである。</p> <p>○ 遺産相続により分割された土地に新築の家が建つが緑がない。建築許可を下す時に協力要請をしなくては、緑化推進にならないのではないか。</p> <p>○ 屋上緑化や壁面緑化は、維持管理やコストの面から進んでいるとは言えず、これらに代わる施策を検討すべきではないか。</p> <p>○ 野鳥の種類を増やすといった生物多様性はよいが、鳥が増えればフンの問題などが発生することもある。共生するための視点と両方が必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目黒区の特性を活かした魅力ある都市景観の創出</li> <li>○ 優れた景観資源の保全及び活用</li> <li>○ 街のみどりの保全・創出</li> <li>○ 生物多様性の確保による自然と共生するまちづくりの推進</li> <li>○ 河川の水質浄化による親しみある水辺の整備</li> </ul>		
	高齢者、障害者等の居住支援					
	空き家対策の推進					
	住宅確保要配慮者の住まいの確保					
	道路、橋りょう等の整備・長寿命化の推進					
	交通バリアフリーの推進					
	交通安全対策の推進					
	放置自転車対策の推進					
自転車走行の環境整備と安全確保						
15 自然環境・景観	公園等の整備・長寿命化の推進	(28)自然環境の保全とみどりの創出	<p>○ 目黒川の合流式下水道の早期改善の都への要望について、5年後には早期改善が図られるようにしていただきたい。10年後には水質改善が果たされていることを方向性に掲げていくべきではないか。</p> <p>○ 区の目玉は目黒川の桜である。ただし、下水は隣接区、区横断的な施策が必要だが、この点、都との連携と区、区民の熱い思いを反映させることが必要ではないか。沿岸住民が納得できる施策を皆で考えていくべきである。</p> <p>○ 遺産相続により分割された土地に新築の家が建つが緑がない。建築許可を下す時に協力要請をしなくては、緑化推進にならないのではないか。</p> <p>○ 屋上緑化や壁面緑化は、維持管理やコストの面から進んでいるとは言えず、これらに代わる施策を検討すべきではないか。</p> <p>○ 野鳥の種類を増やすといった生物多様性はよいが、鳥が増えればフンの問題などが発生することもある。共生するための視点と両方が必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目黒区の特性を活かした魅力ある都市景観の創出</li> <li>○ 優れた景観資源の保全及び活用</li> <li>○ 街のみどりの保全・創出</li> <li>○ 生物多様性の確保による自然と共生するまちづくりの推進</li> <li>○ 河川の水質浄化による親しみある水辺の整備</li> </ul>		
	街のみどりの保全・創出					
	生物多様性の確保					
	河川の浄化対策の推進					

行政分野別検討シート	各行政分野の主な施策	政策分野レベルのまとめ	各行政分野における審議会意見の概要	将来像へのキーワード
16 環境	地球温暖化対策の推進	(29)持続可能なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境問題について、区民がどうしたら関心を持ってもらえるのか、取組につなげていけるのかを考え、幅広い層に知ってもらうための情報発信が必要である。</li> <li>○ 区が推進しようとする施策については、その意図が正しく伝わるよう、誰が見てもわかりやすい表現としてほしい。</li> <li>○ どの立場からものを見ていくのか、視点をどこにおくのかという点は重要であり、行政、地域、家庭が一体となって作っていく場合には、地域にも目を向ける必要がある。</li> <li>○ 区側として「～する必要がある」といった表現が多いが、例えば「生活環境を創出する」などとして区民自らも取り組み、創っていくという視点からも文言を検討してほしい。</li> <li>○ 新たに発生する多様な環境課題に対して、どうやって区の環境を守るのかという視点が必要であり、近年はその対象範囲が広がっていることに留意してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 区民、団体及び事業者一人ひとりの自主的な行動を一層促し、区と一体となって地域の環境問題への取組を推進</li> <li>○ ルールに沿った分別の徹底と区と地域との連携協力による3Rの推進により、ごみ量を大幅に削減</li> <li>○ 社会状況の変化に応じた、区と地域との連携協力によるごみ収集の体制の構築</li> <li>○ 災害ごみを迅速かつ適正に処理する仕組みづくり</li> </ul>
	再生可能エネルギーの利用促進			
	公害対策の充実			
	多様な主体との連携による環境行動の推進	(30)持続可能な資源利用の推進		
	ごみの減量の推進			
	省資源・リサイクルの推進			
	食品ロス削減の推進			
17 教育	個に応じた教育による確かな学力の向上	(31)学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学生・中学生の時期には個々の成長に応じた学習活動がなければ、いじめの問題や引きこもりにつながるのではないかな。</li> <li>○ AI時代に、読解力・創造力といった人間にしかできない能力を向上させていく教育が求められるのではないかな。</li> <li>○ 「部活動の推進」という視点も考慮してほしい。</li> <li>○ 「チーム学校」を進めるためには、教員以外の専門スタッフや地域人材を活用した、風通しの良い体制づくりが必要である。</li> <li>○ 学校は子どもたちが勉強する場でなくてはならない。多忙な教員を支援するため、専門職も含め外部と連携し、地域人材によるボランティアなども活用できると良い。</li> <li>○ 学校だけで全ての課題に対応していくことは難しいので、PTAと更なる連携をして取り組んでいく必要がある。</li> <li>○ 「地域と密着した学校」の視点が欠けないようにしてほしい。</li> <li>○ 教科書に二次元バーコードが付与される状況等を考えると、教育分野におけるIT化や情報化は5年後、10年後ではなく緊急の課題ではないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育の情報化の推進による教育の質の向上</li> <li>○ 子どもの人権が尊重される教育環境づくりに向けた施策の推進</li> <li>○ 一人ひとりの児童・生徒に応じた適切な教育の推進</li> <li>○ 「チーム学校」に加え、地域人材や社会資源と連携・協働する学校運営体制の構築</li> <li>○ 将来需要に対応した安全・安心で快適な学校施設の整備</li> <li>○ 適正な学校規模の下での充実した教育活動の展開</li> <li>○ インクルーシブ教育システムの構築</li> </ul>
	違いを認め自他を思いやる豊かな心の育成			
	健やかな体の育成			
	「チーム学校」の推進			
	教員の資質・能力の向上			
	学校施設の老朽化への対応			
	快適な学習環境の整備(学校ICT環境を含む)			
	幼児教育の推進			
インクルーシブ教育システムの構築の推進				
18 生涯学習	多様な主体の連携・協力による幅広い学習機会の提供	(32)生涯学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生涯学習は区が主導するだけでなく、民間団体が実施している生涯学習を区が支援することも重要である。</li> <li>○ 知識、経験を生かして地域活動をしたいと思える状況や環境を整備していく必要がある。</li> <li>○ 今後の超高齢社会を見据え、活力ある社会をつかっていくためには、高齢者の生涯学習という視点も重要ではないかな。</li> <li>○ 区内の大学施設や人材をもっと有効的に活用していくべきである。</li> <li>○ 家庭内の教育はとても重要な要素なので、保護者の状況に応じた家庭教育を支援し、充実した取組にしていきたい。</li> <li>○ 民間団体と連携することで、もっと目黒区の特徴を踏まえた文化継承ができるのではないかな。</li> <li>○ 文化財の保護については、その文化的価値をしっかりとらえて、行うべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 区民ニーズを捉えた多様な学習機会の提供</li> <li>○ 官民の連携協力による生涯学習環境の充実</li> <li>○ 学習成果を地域で活用することができる「地域に学び地域に生かす」仕組みの構築</li> <li>○ 社会状況の変化や個々の家庭環境に対応した家庭教育支援の充実</li> <li>○ 区民・利用者のライフステージに即した質の高い図書館サービスの提供</li> <li>○ 次世代への文化財の継承と郷土学習機会の更なる充実</li> </ul>
	家庭・地域の教育力の向上			
	社会教育活動の促進			
	図書館サービスの充実			
	文化財の保護・活用			

検討シート 行政分野別	分類の大括り化		分野別のテーマ	施策の例示	例示に不足していると思われる施策
1 行財政運営	(安全・安心) ○○なまちづくり	14	災害に強い街づくり	道路・橋りょう等の都市基盤の整備	都市型水害への対応 総合的な治水対策の促進
2 情報政策		13		建築物の耐火化・耐震化の促進など	
3 平和・人権		4	震災、風水害などへの備え	避難所整備	
4 防災・防犯		4		防災訓練の充実、意識啓発など	
5 地域コミュニティ		4	日常生活の安全・安心	特殊詐欺被害の防止	
6 産業振興		4		生活安全パトロールの推進	
7 芸術・観光・自治体交流		6		消費者被害の防止など	
8 スポーツ振興	(子ども・教育)	12	子育て支援の充実	保育サービスの充実	妊娠期から子育て期にわたる子育て家庭 への支援の充実
9 地域福祉・地域包括ケア		12		放課後の居場所づくり	
10 高齢福祉・障害福祉・生活困窮		12		育児相談の充実	
11 保健医療		12		児童虐待防止など	
12 子育て		17	学校教育の充実	学校施設の整備・更新	インクルーシブ教育の推進 人権・いのちの教育
13 安全・安心の街づくり		17		学力の向上	
14 道路・交通		17		豊かな心の育成など	
15 自然環境・景観		(保健・医療・福祉)	18	生涯学習の充実	生涯学習講座の実施(生涯学習機 会の提供)
16 環境	18		社会教育活動の支援		
17 教育	18		図書館の充実など		
18 生涯学習	18				
	11		健康寿命の延伸	健康づくりの推進	受動喫煙防止の推進 自殺対策の推進
	11			健診・保健指導の実施など	
	11		保健・医療体制の充実	感染症対策	
	11			在宅療養の支援	
	11	食品衛生の推進			
	11	地域で支え合う福祉活動	環境衛生の推進など		
	9		地域における支え合いの仕組みづ くり		
	9	高齢者福祉の推進	見守り活動の推進など		
	10		高齢者福祉施設の整備		
	10	障害者福祉の推進	在宅サービスの充実		
	10		社会参加の場づくりなど		
	10	生活の安定と自立支援	障害者福祉施設の整備		
	10		自立・社会参加の支援など		
	10		生活援助		
	10		就労相談の実施など		
		16	環境にやさしい街づくり	地球温暖化対策	持続可能な街づくり 路上喫煙防止の推進 再生可能エネルギーの利用促進
		16		大気・水質の汚染対策など	
		16	循環型社会の構築	ごみの減量化	
		16		省資源の推進	
		16	リサイクルの推進など		
	15	魅力ある街並みの整備	都市景観の整備、都市計画、地区 計画など		
	14		放置自転車対策		

(都市環境)	13	暮らしやすい街づくり	道路の無電柱化	
	13		空き家対策	
	13		バリアフリーの推進など	
	13		公園整備	
	15	みどり豊かな街づくり	緑化の推進	
	15		生物多様性の確保など	
	15	親しみのある水辺の整備	河川の水質浄化	
	15		川沿いの通路、環境の整備など	
	13	交通の安全性・利便性の向上	交通安全対策	
	14		自転車の走行環境の整備	
	14		地域交通の支援など	
	(地域活性化)	6	地域の商・工業の振興	商店街の活性化支援
		6		創業者支援
		6		融資あっせんなど
7		観光まちづくりの推進	観光資源の活用	
7			来訪者への情報提供の充実	
7			多言語対応の推進など	
7		芸術文化の振興	コンサート、展覧会の開催(芸術文化に親しむ機会の提供)	
7			芸術文化活動の支援など	
8		スポーツを楽しむ環境の充実	スポーツ教室の開催(スポーツに親しむ機会の提供)	
8			スポーツ・レクリエーションの支援など	
(行政運営)	5	コミュニティ活動の促進	町会・自治会、住区住民会議活動、ボランティア活動への支援など	
	7	自治体、大学、企業等との交流の促進	他の自治体の市民との交流	
	7		地域の大学、企業等の連携など	
	3	多様性を認め合う地域社会の実現	人権尊重	
	3		男女平等・共同参画の推進	
	3		外国人住民への支援など	
	2	電子自治体の推進	各種手続の電子化	
	2		情報セキュリティ対策など	
	1	効率的な行政運営	行政内部の事務のICT活用	
	1		民間活力の活用	
1		職員の人材育成など		
1	適切な公共施設サービスの提供	区有施設の見直しの推進など		
2	区民との情報共有の推進	情報公開、オープンデータの推進		
	区政への区民参画の推進	行政検討に先立つ区民提案づくりの機会の充実など		

安全・安心	1. 災害に強い街づくり	道路・橋りょう等の都市基盤の整備
	2. 震災、風水害などへの備え	避難所整備、防災訓練の充実、
	3. 日常生活の安全・安心	特殊詐欺被害の防止、生活安全
子ども・教育	4. 子育て支援の充実	保育サービスの充実、放課後の
	5. 学校教育の充実	学校施設の整備・更新、学力の
	6. 生涯学習の充実	生涯学習講座の実施、社会教育
保健・医療・福祉	7. 健康寿命の延伸	健康づくりの推進、健診・保健指
	8. 保健・医療体制の充実	感染症対策、在宅療養の支援、
	9. 地域で支え合う福祉活動	地域における支え合いの仕組み
	10. 高齢者福祉の推進	高齢者福祉施設の整備、在宅サ
	11. 障害者福祉の推進	障害者福祉施設の整備、自立サ
都市環境	12. 生活の安定と自立支援	生活援助、就労相談の実施など
	13. 環境にやさしい街づくり	地球温暖化対策、大気・水質の
	14. 循環型社会の構築	ごみの減量化、省資源・リサイクル
	15. 魅力ある街並みの整備	都市景観の整備、都市計画、地
	16. 暮らしやすい街づくり	放置自転車対策、道路の無電柱
	17. みどり豊かな街づくり	公園整備、緑化の推進、生物多
	18. 親しみのある水辺の整備	河川の水質浄化、川沿いの通路
地域活性化	19. 交通の安全性・利便性の向上	交通安全対策、自転車の走行環
	20. 地域の商・工業の振興	商店街の活性化支援、創業者支
	21. 観光まちづくりの推進	観光資源の活用、来訪者への情
	22. 芸術文化の振興	コンサート、展覧会の開催、芸術
	23. スポーツを楽しむ環境の充実	スポーツ教室の開催、スポーツ・
	24. コミュニティ活動の促進	町会・自治会、住区住民会議活
行政運営	25. 自治体、大学、企業等との交流の促進	他の自治体の市民との交流、地
	26. 多様性を認め合う地域社会の実現	人権尊重、男女平等・共同参画
	27. 電子自治体の推進	各種手続の電子化、情報セキュ
	28. 効率的な行政運営	行政内部の事務のICT活用、民
	29. 適切な公共施設サービスの提供	区有施設の見直しの推進など
	30. 区民との情報共有の推進	情報公開、オープンデータの推
	31. 区政への区民参画の推進	行政検討に先立つ区民提案づく



設備、建築物の不燃化・耐震化の促進など  
意識啓発など  
パトロールの推進、消費者被害の防止など  
居場所づくり、育児相談、児童虐待防止など  
向上、豊かな心の育成など  
活動の支援、図書館の充実など  
導の実施など  
食品衛生・環境衛生の推進など  
づくり、見守り活動の推進など  
サービスの充実、社会参加の場づくりなど  
社会参加の支援など

汚染対策など  
ルの推進など  
区計画など  
化、空き家対策、バリアフリーの推進など  
様性の確保など  
、環境の整備など  
環境の整備、地域交通の支援など  
援、融資あっせんなど  
報提供の充実、多言語対応の推進など  
文化活動の支援など  
レクリエーションの支援など  
動、ボランティア活動への支援など  
域の大学、企業等の連携など  
の推進、外国人住民への支援など  
リティ対策など  
間活力の活用、職員の人材育成など

等など  
りの機会の充実など

安全・安心なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>11地域防災力の向上</li> <li>12民間建築物の耐震化の推進</li> <li>13特殊詐欺に対する防犯対策</li> <li>21若者・高齢者の消費者被害防止の強化</li> <li>47木造住宅等の不燃化の推進</li> <li>48都市インフラの長寿命化</li> <li>51放置自転車対策の更なる推進</li> <li>55住宅確保要配慮者への住宅供給</li> <li>62学校施設長寿命化計画の策定・実施</li> </ul>
助け合い・支え合いのまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>14町会・自治会等地域活動団体の活性化</li> <li>15地域団体間の連携支援</li> <li>27地域共生社会の実現</li> <li>28地域包括ケアシステムの構築</li> <li>29我が事・丸ごとの総合的相談支援体制の整備</li> <li>30地域における支え合いの推進</li> <li>33障害者・児への切れ目ない相談支援の充実</li> <li>34心のバリアフリーの推進</li> </ul>
みんなが元気なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>8性的少数者の人権問題</li> <li>17商店街の活性化支援</li> <li>18創業支援の充実</li> <li>19中小企業の就業・人材確保支援</li> <li>22外国人住民と共に生きるまち</li> <li>23外国人来訪者を意識した魅力発信</li> <li>24今後の3区間交流・国際交流の推進</li> <li>25ライフステージに応じたスポーツ活動の推進</li> <li>26スポーツを通じたコミュニティ形成の促進</li> <li>31高齢者の社会参加の促進・就労支援</li> <li>32介護従事者の確保と質の向上</li> <li>35高齢者・障害者の入所・通所施設の整備促進</li> <li>36健康寿命の延伸(人生100年時代)</li> <li>37受動喫煙対策の強化</li> <li>38生きることの包括的な支援としての自殺対策</li> <li>39認知症対策の総合的な推進</li> <li>64多世代への学習機会の提供</li> </ul>
子どもがいきいき育つまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>40妊娠・子育て期にわたる相談支援の充実</li> <li>41保育所整備の拡充</li> <li>42保育従事者の確保と質の向上</li> <li>43病児保育等多様な保育サービスの提供</li> <li>44放課後子ども総合プランの策定・実施</li> <li>45児童相談所の設置・運営</li> <li>59「生きる力」の育成</li> <li>60いじめ対策・命と心の教育</li> <li>61特別支援教育の推進</li> <li>63中学校の適正規模化(統合)</li> </ul>
快適に暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>20都市農地の保全</li> <li>46官民連携の街づくりの推進</li> <li>49区道の無電柱化の推進</li> <li>50自転車走行環境の整備</li> <li>52みどりの保全・創出</li> <li>53生物多様性豊かな街の実現</li> <li>54河川(目黒川)の水質浄化対策の推進</li> <li>56環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築</li> <li>57区有施設の省資源・省エネ化の推進</li> <li>58分別回収の徹底</li> </ul>
持続可能な行財政運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>1中長期の定数管理の考え方の策定</li> <li>2最新ICT技術を活用した業務改革</li> <li>3区有施設見直し計画の推進</li> <li>4新公会計制度の活用</li> <li>5オープンデータ化等区政情報の共有化の推進</li> </ul>

6業務システムのクラウド化の検討  
7平和意識の普及・高揚  
9女性活躍・参画の推進  
10会計年度任用職員制度への対応  
16貸室のあり方見直し  
41-2区立保育園の位置付け整理